シュタイナー美術教員養成講座 第VI期基礎コース研修生募集

この講座は2000年春の発足以来。90名以上の修了者を輩出してきました。 現在、修了者たちは全国各地で活動しています。

この講座を通してシュタイナー教育の真髄を理解することで、各々が自分の中に確固と した信念と、たゆまぬ研鑽の努力によって正しい眼を養います。そして未来を担う子ども たちと、多くの人々がよりいきいきとした生活を営む手助けが出来るようになるための研 修を行います。「ゲーテの色彩論」から「シュタイナーの色彩論」を学び、また形や色彩 に対する感覚を磨き、水彩やフオルメン線描を基礎として学び。幾何学や自然観察なども 含めて見識を広げます。

次期の講座を下記(裏面参照)のように予定しています。受講希望者はメールまたは Fax にてお申し出ください。

期日: 初回 2017 年8月 10,11,12 日 (年間2回3,4日の集中講座を3年間-3月末と8月)

場所:東京、代々木青少年オリンピックセンター(時期によっては変更の可能性あり) **費用:30,000~40,000円(1回の集中講座につき。日数または会場による)**

対象者条件:原宿または横浜の通常クラスに定期的に通い、(またはこの講座修了者の主宰す るクラスに定期的に通い)。感覚的訓練を怠らないこと。――定員25名



VISIO-PAFDF 研修所

ヴィジオペーデ研修所 主宰:吉澤明子

お申し込み、お問い合わせ: visio. pd@gmail.com Tel. Fax 0287-62-6320

講師:吉澤明子プロフィール

アントロポゾフィーに基づく絵画・造形療法士、画家、バイオグラフィーワーカー。東京芸術大学絵画科卒。 10年に亘り子どものための造形教室を主宰。1987年渡独。Witten-Annen の教育研究所およびHerdecke 共同体病院にて芸術療法を学ぶ。92年帰国以来障がい者施設や老人ホームで指導に当たる。現在シュタイナ 一教育教員養成講座運営委員兼講師。東京、横浜、那須に絵画クラスを持ち、また個別療法に携わる。横浜す みれが丘ひだまりクリニック (Anthro-med) にて日本初の「色光セラピー」を実践。

共著/「シュタイナー教育入門」学研刊 「巣立ちへの伴走」社会思想社刊

共訳/E.M. クリステラ―「芸術治療の実際」 W. ホルツアッペル「体と意識をつなぐ四つの臓器」耕文舎刊

講座内容一覧

1年目-第1回(夏)-2017年8月

水彩画	フォルメン線描	読書会
1, 2年生の課題	1. 2年生の課題	ゲーテ≪自然と象徴≫富山房刊
色彩の意味と力	形の意味と力	ゲーテの色彩論
「日本民話」「グリム童話」など	平仮名文字の導入	

--第2回(春)-2018年3月末

水彩画	フォルメン線描	読書会
1, 2年生の課題	2 年生から3 年生の課題	ゲーテ≪自然と象徴≫
色彩の言葉	「九歳の危機」	ゲーテの色彩論—実験
「イソップ童話」「聖人伝」など	「四つの気質」	

2年目—第3回(夏)-2018年8月

水彩画	フォルメン線描	読書会おはなし会
3 年生の課題	4年生から5年生の課題	シュタイナー「色彩の本質」
「創世記」「動物の導入」		シュタイナーの色彩論

--第4回(春)-2019年3月末

水彩画	フォルメン線描	読書会おはなし会
3年生から5年生までの課題	5年生から6年生の課題	シュタイナー「色彩の本質」
「創世記」「動物」		シュタイナーの色彩論
「植物の導入」		

3年目一第5回(夏)-2019年8月

水彩画	フォルメン線描	読書会
5 年生から6 年生の課題	フォルメン線描から幾何学へ	シュタイナー「色彩の本質」
「植物」「四大元素と神話」	白黒線描	シュタイナーの色彩論

--第6回(春)-2020年3月末

水彩画	幾何学	読書会
5,6年生の課題	「ピタゴラスの定理」	シュタイナー「色彩の本質」
層技法の導入	「黄金比」など	
「古事記」「ギリシャ神話」から	「遠近法」と「美術史」	シュタイナーの色彩論

(予定、内容は変更することがあります。)